

半田運河蔵の街・ごんぎつねの里地区

(愛知県半田市)

- 計 画 期 間 平成 22 年度～平成 26 年度
- 面 積 962.5ha
- 交付対象事業費 2,370 百万円
- 市人口 120,052 人 (地区内人口 46,818 人)

ポイント

住んでよく 訪れてよい 賑わいある都市環境の形成
～半田の歴史・文化が感じられる暮らし・憩い・回遊
空間づくり～

地区概要

本市の象徴である「山車・蔵・南吉・赤レンガ」に関連する
観光資源の整備を行い、観光客や市民が交流し、賑わいある
まちづくりの推進を図る。

目 標 半田の歴史と文化が感じられるまち～歴史文化の伝承と観光活用～

歩きやすく賑わいある中心市街地の形成～市街地回遊ネットワークづくり～

生涯を通じて安全・安心・快適に暮らせるまち～災害に強く都市機能に恵まれた豊かな生活文化の充実～

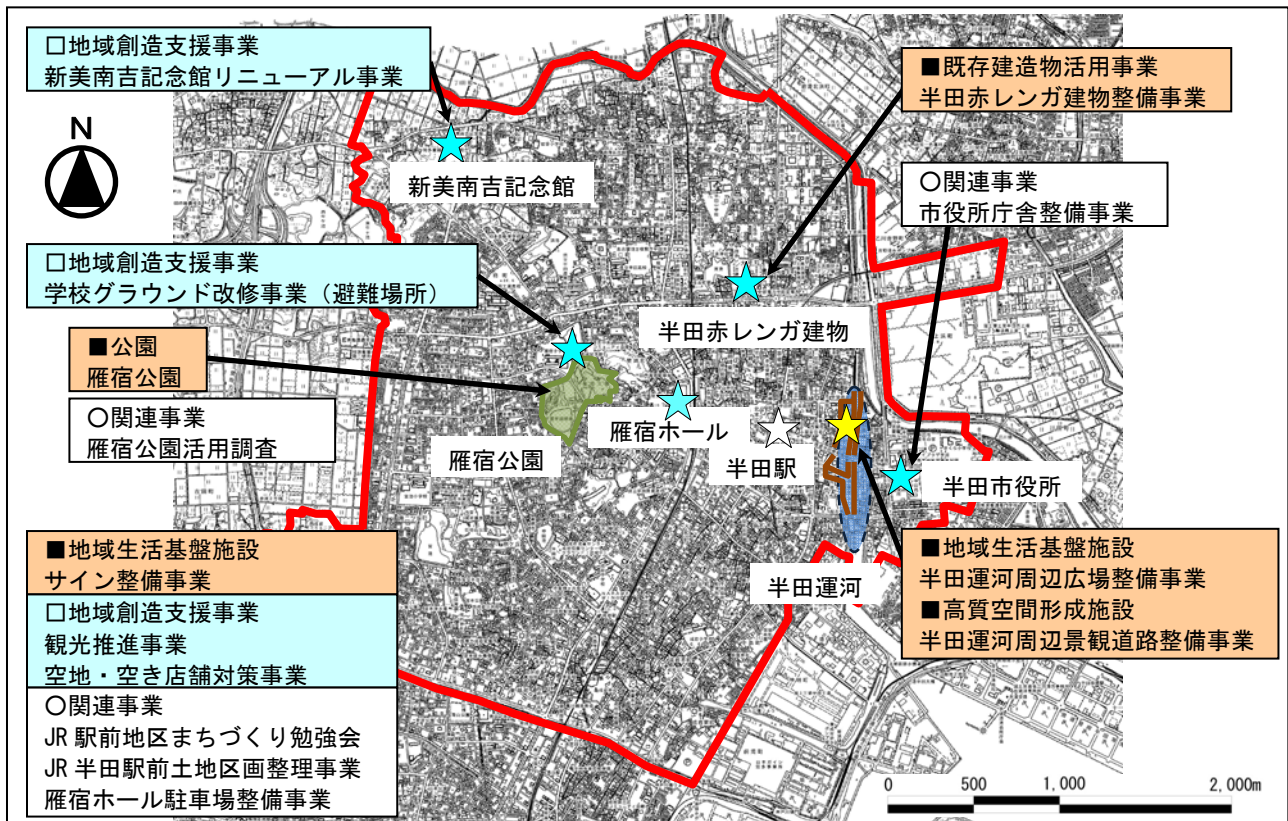
指 標

観光資源の整備により交流を促し、賑わいづくりを進めるため、主要な観光施設の来場者数を指標とした。また、まちの回遊性や道路、広場などの基盤整備、避難場所の耐震化による満足度を向上させるため、アンケート結果を定量化し、指標とした。

博物館「酢の里」・國盛 酒の文化館・新美南吉記念館の来場者数	191,950 人/年	H20	→	221,950 人/年	H26
知多半田駅や最寄駅周辺の整備、商業やサービス業また観光の振興に対する満足度	-1.56Pt	H20	→	-0.52Pt	H26
安全な避難路や避難場所の分かりやすさや充実度に対する満足度	-1.44Pt	H20	→	0.65Pt	H26

事業内容 基幹事業 (1,974 百万円) →公園 (1 か所)、半田運河周辺広場整備事業、サイン整備事業、半田運河周辺
景観道路整備事業、半田赤レンガ建物整備事業など

提案事業 (396 百万円) →学校グラウンド改修事業 (避難場所)、観光推進事業、新美南吉記念館リニュー
ーアル事業、空地・空き店舗対策事業



地区の現況と課題

半田を表すキーワードとして「山車・蔵・南吉・赤レンガ」があります。これらの歴史や文化を活かして、多くの人々の交流を促し、賑わいの創出につなげるため、半田運河周辺の歴史的景観の保全や半田赤レンガ建物の常時公開に向けた整備と、それらの資源を活用した持続的な集客を図るための取組みや仕組みの検討が必要です。また、童話作家、新美南吉ゆかりの岩滑地区では、観光客が年々増加しており、新美南吉記念館の施設拡充と半田運河など他の観光資源との回遊性の向上が求められています。

提案事業の特徴

新美南吉記念館リニューアル事業：新美南吉は「ごんぎつね」などで知られる日本を代表する童話作家です。平成25年には生誕100年を迎え、「新美南吉」と「ふるさと半田」に関心を持ち、半田を訪れていただくための情報発信を行うとともに、新美南吉記念館の魅力向上のため、リニューアル事業を行います。

観光推進事業（観光案内板設置事業）：半田を訪れる人々の回遊性を高め、目的地への移動がしやすくなるよう主要な施設に観光案内板の設置を行います。

計画策定プロセス

庁内検討組織の設置：庁内関係部局による準備会を設置し、横断的に事業の洗い出しを行いながら整備計画の策定を行いました。

市民意識調査の実施：アンケートによる市民意識調査を行い、目標とする指標の設定に活用しました。

榊原純夫 半田市長のコメント

半田市は古くから酢や酒などの醸造業や海運業などで発展を遂げてきました。半田運河周辺では、今もお風情ある黒板囲いの蔵が残され、市民に広く親しまれています。平成20年には運河沿いの美しい景観を活かしたまちづくりを推進するため「運河サミット in 半田」を開催しました。また、景観行政団体である本市は、半田運河周辺地区や新美南吉ゆかりの岩滑地区など3地区を景観形成重点地区に指定し、良好な景観の保全に努めています。今後も本市の象徴である「山車・蔵・南吉・赤レンガ」を含む本地区において、これらの資源を十分活かし、賑わいと活気に満ちたまちづくりを進めて参りたいと思います。

半田蔵のまちネットワーク永田創一座長のコメント

半田運河周辺に立地する産業観光施設（博物館「酢の里」・國盛酒の文化館）と市民団体（赤煉瓦倶楽部半田・紺屋海道研究会など）そして半田商工会議所・行政・NPO法人半田市観光協会が平成20年10月に「はんだ蔵のまちネットワーク」を結成しました。毎月、情報交換の場を持ち、節句文化と連動した四季のイベントや、新美南吉記念館～紺屋海道～半田運河～JR半田駅～名鉄知多半田駅界隈の回遊性を高める「スタンプラリー」「スイーツ巡り」などを企画運営しています。赤レンガ建物の常時公開・半田運河周辺の更なる観光活用が待たれますが、ネットワークを構築しマンパワーのまちづくり体制を一步ずつ進めています。



▲半田運河周辺の景観



▲新美南吉記念館



▲新美南吉生誕100年



▲駅前に設置された観光案内板



▲半田赤レンガ建物



▲半田赤レンガ建物の特別公開の様子